

かながわグリーンフォーラム 2005 開催結果

～みんなでつくろう！ 歩きたくなる「みどり」のまち～

- ・ 日 時：平成 17 年 2 月 26 日（土） 13：30～16：30
- ・ 会 場：平塚プレジール 5 階（平塚駅南口 徒歩 1 分）
- ・ 主 催：（財）神奈川県公園協会、NPO 法人 G I P
- ・ 後 援：神奈川県、平塚市、（独）都市再生機構、（財）都市緑化技術開発機構、
（社）日本公園緑地協会、（財）日本造園修景協会
- ・ 協 賛：（財）かながわトラストみどり財団
- ・ 目 的：「みどり」の複合的効果に着目し、市民と行政が協働で取り組んでいるまちづくりなどの事例を発表するとともに、市民の皆さんと意見交換して、住みたくなる・歩きたくなるみどりのまちづくりを考える機会とする。

・ 開催内容：

第一部 (1) 基調講演「市民と協働で推進する百年の杜づくり」

庄子 稔（仙台市建設局百年の杜推進部長）

下記の 3 点をキーワードに、都市再生という視点も加え、現在推進している仙台市の「百年の杜づくり」について、映像等を交えて分かりやすく講演された。

- 1 個性；いかに地域の個性を生かした魅力あるまちづくりを進めるか 仙台＝杜の都
- 2 環境；環境への貢献という視点に立脚したみどりの役割や機能を生かしたまちづくり
- 3 協働；行政主体のまちづくりから脱却して、市民や企業が主体的にかかわる協働のまちづくり

リラックスタイム「アルプホルン演奏」

玉川アルプホルンクラブ

第二部 (1) パネルディスカッション

「みんなでつくろう！ 歩きたくなる『みどり』のまち」

[モデレーター] 半田真理子（都市緑化技術開発機構 都市緑化技術研究所長）

これからの都市というのは、自然とともに生きるというときに、人工地盤上にも自然を取り入れるような工夫をし、屋上・壁面緑化などの装置を考えていくことも私たちのチャレンジではないかなと思います。

[パネラー] 庄子 稔氏（仙台市建設局百年の杜推進部長）

行政と市民との関わりの中で、これからは、行政対市民団体というのではなく、市民団体同士のネットワークづくりをどのように展開していくかというのが、非常に大切です。

小林長治氏（21 渋谷川プロムナードプラン推進協議会会長）

私たちの活動は手づくりでプロムナードをつくろうというのが当初からの基本的な考え方で、一番大事なのは、植えた後どうやって育て、

維持管理していくかということです。

大田哲夫氏（藤沢市みどりいっぱい市民の会副会長）

私たちが今一番力を入れているのは子どもたちで、将来大きくなった時に、緑があった方がいいな、こういう街がいいなと思うようになってくれることが一番の理想です。



フォーラムの様子